

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	05 秋田県
市区町村名	05209鹿角市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
05209鹿角市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	ボランティアに参画する人数は増えているものの、参加者が固定化している状況となっていることから、新年度のタイミングで地域学校協働活動の周知を図り、ボランティア数維持する必要がある。	・活動PRチラシの作成及び学校・社会教育施設等への配布 ・市HPでの活動紹介 ・入学説明会等での活動PRチラシの配布及びボランティア募集チラシの配布 ・推進員の意識啓発につながる研修会等の実施	・活動PRチラシの作成 ・学校および社会教育施設等への活動PRチラシの配布及びボランティア募集チラシの配布 ・入学説明会等での活動周知 ・市HPでの活動紹介 ・推進員の意識啓発につながる研修会等の開催	・活動に対する地域住民の理解がすすむ。 ・参画する人が増えることによりボランティア数が増加する。	地域学校協働活動に参画するボランティア数(延べ)	2084	人	1250	1799	05 本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した。 活動PRチラシ作成にあたり、各地区での取り組みの様子を写した写真などを使用し、活動の様子を具体的に周知することができたと考えている。また、学校だけでなく社会教育施設等へ配布することにより、地域に向けても周知することができた。入学説明会等での配布により、新たな参画者を得ることができたが、学校卒業と同時に協働活動への参加が減っている傾向がみられるため、周知の方法や範囲の開拓が今後の課題であると考えている。	鹿角市HP https://www.city.kazuno.lg.jp/kosodate_kyoiku/shogaigakushu/2/6393.html